

飼料米を利用した高級牛肉の生産

福島県農業総合センター 畜産研究所

1 部門名

畜産 - 肉用牛 - 畜産栄養

2 担当者

富永 哲

3 要旨

黒毛和種去勢肥育において、出荷前6ヶ月間、濃厚飼料のTDN比25%を飼料米(圧ペンモミ)で代替しても枝肉成績に大きな影響は与えない。

- (1) 試験期間内の濃厚飼料給与量は、TDN量を満たすため米給与区が1頭あたり0.4kg多く、稲ワラは両区とも同量とした。その結果慣行区は連日ほぼ全量採食していたが、米給与区は日によって数百グラム程度濃厚飼料を残していた。残飼の内容は圧ペンモミが多かった。観察から圧ペンモミの嗜好性は濃厚飼料より若干劣る。
- (2) 濃厚飼料代替割合は、試験期間が重量比約24%、肥育全期間では約9%であった。
- (3) 試験期間内の日増体量は慣行区が多い傾向にあるが、試験前期間は逆転していた。
- (4) 体重の推移は最終的に差がなかった。
- (5) 枝肉成績では、BMSNo.が慣行区7.8、米給与区が7.4とどちらも良好であった。慣行区のバラ厚、皮下脂肪厚が米給与区よりも厚かった。その他しまり、きめ、光沢等の枝肉肉質に差はなかった。

飼料米給与比較試験結果

屠畜・セリ販売:福島県食肉流通センター H21.10.5

No.	血統			性	導入時 DG	枝肉 重量	ロース芯	バラ厚	皮下 脂肪厚	歩留	BMSNo.	格付	平均値	
	父	祖父	曾祖父										枝肉重量	BMSNo.
慣 行 区	登美貴	平茂勝	北国7の8	去	1.02	526	65	9.8	2.4	75.7	11	A5	484.4	7.8
	日本桜	東平茂	菊光	去	0.99	506	55	9.6	2.5	74.4	8	A5		
	登美貴	菊照美	高米	去	1.05	473	59	8.8	2.7	74.6	8	A5		
	登美貴	菊安	東平茂	去	0.91	419	47	9.0	2.8	73.8	7	A4		
	登美貴	東平茂	双葉田安	去	1.21	499	56	8.8	2.8	73.8	5	A4		
米 給 与 区	日本桜	東平茂	茂光	去	1.02	478	61	8.5	2.1	75.1	10	A5	482.1	7.4
	登美貴	平茂勝	茂重波	去	1.04	487	56	8.8	2.5	74.3	10	A5		
	登美貴	安平	福桜	去	1.05	479	54	8.5	2.4	74.0	7	A4		
	日本桜	東平茂	福金晴	去	0.89	463	47	7.8	1.6	73.5	6	A4		
	登美貴	第5隼福	神高福	去	1.04	504	46	8.7	2.1	73.0	4	A3		
平均					1.02	483.3	54.6	8.8	2.4	74.2	7.6			
										5率	50%	45率	90%	

出荷前6ヶ月間、濃厚飼料の25%を飼料米(圧ペンモミ)で代替しました。

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成21年度試験成績概要